

1 本年度の重点課題

1 確かな学力の定着・向上と学習指導要領に基づく力の育成
2 人権教育による豊かな心の醸成と規範意識の確立（一学校一改革：相手が笑顔になるあいさつ・返事）
3 気力・体力の向上（一校一運動「なわとび運動」の継続的な実施）
4 学習支援ボランティア等の効果的な活用（教科・読み聞かせ・クラブ活動等）
5 業務改善のための取組

2 評価と改善策等（4段階評価、評定3.0未満は太字）

評価内容		評価	課題・改善策
<b>I 人権教育による規範意識の確立と生徒指導の徹底</b>			
<b>1 学校・学年・学級経営の充実</b>			
① 確かな学力の定着、向上と学習指導要領に基づく力の育成を行っている。		3.2↑	○学習状況調査への取組を他学年にも周知させ、学校全体で共通実践していきたい。
② キャッチフレーズを子どもに定着させ、それに沿った行動を促進している。		<b>2.9↑</b>	
③ 児童が自他のよさを見つけ合う、自己肯定感を高める経営が行われている。		3.2↑	
<b>2 生徒指導の充実</b>			
(一学校一改革)	あいさつ・返事・言葉遣い	<b>2.8↑</b>	○あいさつをする子が多くなった感じがする。 ▲家庭の事情で通常時刻の登校ができない子がいる。 ▲言葉遣いについては、一年を通して継続指導してきた。道徳や学級活動で考えさえる時間をとり、賞賛も多くしてきた。
① 基本的な生活習慣を確立するための指導を十分に言い、成果をあげている。	早寝・早起き・朝ご飯	<b>2.9↑</b>	
	学習用具の不備なし、忘れ物なし	<b>2.6↑</b>	
② 状況に応じた教育相談を適切に行っている。(子どもに対して、保護者に対して)		3.2→	
③ 生徒指導上の問題等に関する報告・連絡・相談が確実に行われ、問題等に対する組織的な対応ができています。		3.4↓	
<b>3 人権教育・道徳教育の充実</b>			
① 人権教育の視点に立った教育活動を、全教育活動の中で計画的、意図的に進めている。		3.3→	▲情報モラル指導については、家庭も取り込んで継続して指導していく必要がある。
② 主題に即した適切な資料や指導方法を工夫し、道徳の時間の指導の充実が図られている。		3.1↓	
③ ICT利用に伴う情報モラルやマナーの育成を強化している。		3.0→	
<b>II 確かな学力の定着、向上と新学習指導要領に基づく力の育成</b>			
<b>1 基礎・基本の定着と活用する力の育成</b>			
① 子どもたちの「なぜ？」を授業に生かし、学習の場を設定し、毎時間の授業の充実に努めている。		3.3→	▲机上の整理の仕方が学級によって統一されていない。もう一度、小中連携の共通実践事項の確認を行う必要がある。
② 相手の話をしっかりと聞こうとしたり、声の大きさに気をつけて話したりする態度が身につくように努めている。		3.0→	
③ 単元テストや諸学力調査の結果分析を、具体策につなげ、実践している。		3.2→	
④ 小中連携研修会、幼保小連携研修会での共通実践事項を実践している。		3.3↑	
⑤ 校内研修は計画的に推進され、内容は、学校や職員の必要性に沿った有意義なものとなっている。		3.4↑	
⑥ 校内研修での共通実践事項を徹底し、児童の学力向上に生かしている。		3.3↑	
⑦ 諸研究公開や講座等への参加は積極的になされ、その成果は、職員全体へ還元されている。		<b>2.9↓</b>	
<b>2 個に応じた指導の充実</b>			
① 個に応じたきめ細やかな指導を通して、どの子どもも授業の内容がよく分かるようにする。		3.3→	○子供が興味を示し、深い学びを実現するため ICT を授業に多く取り入れた。 ●ICT の修繕は、迅速に修繕申請の手続きを進めていく必要がある(子供の学びの保障の観点からも)。
② 読書指導が計画的になされ、子ども一人一人の充実した読書活動が展開されている。		3.5↑	
③ 個別の指導計画・支援計画に基づき、適切な就学指導、入級指導がなされている。		3.0↓	
④ 特別支援教育についての保護者・児童への啓発が適切に行われ、理解を深めることができています。		<b>2.8↓</b>	

<b>Ⅲ 気力・体力の向上</b>		
<b>1 体育・保健指導の充実</b>		
① 個々の目標をもたせ、自主的、積極的な運動等、体力づくりの生活化を図っている。(一校一運動の推進：なわとび運動)	2.6↓	▲未処置対象児童の家庭には、病院受診を継続して呼びかけていく(処置率80%以上を目標)。 ▲なわとび運動を徹底させる必要がある(継続させる時間の設定等)。
② 時期により、TT指導や講師招聘、各種教室の開催など、専門性を生かした指導を取り入れている。	3.1↑	
③ 健康の保持増進に関する意識・実践力の向上を図っている。(むし歯予防、視力低下防止、けが防止)	3.1↑	
④ 給食指導が十分になされ、「あと一口」で残食0を目指す。	3.1↑	
<b>2 特別活動や体験活動の充実</b>		
① 各種特別活動は自主・自発的な活動を推進し、子どもが自らの活動に充実感や有用感等をもつことができている。	2.8↓	○6年生を送る会では、各学年工夫を凝らしたものだだった。
② 学校行事の時期、内容等は適切であり、それぞれのねらいを達成することができている。	3.3→	
<b>Ⅳ 安全に配慮した、開かれた学校づくり</b>		
<b>1 危険予知・回避能力の育成</b>		
① 場や内容の設定を工夫した訓練や教室を実施している。	3.4↑	●保護者の送迎マナーが悪い。所定場所の定期的な周知案内を呼びかけていく。 ●廊下歩行を徹底させる。階段の右側歩行も注意させていきたい(特に給食運搬時)。
② 異年齢集団のよさを生かした集団下校や訓練等を行っている。	3.3↑	
③ 安全管理についての情報を保護者や地域へ周知し、協力態勢の確立に努めている。	3.5↑	
<b>2 安全管理の徹底</b>		
① 安全点検とその事後処置が確実になされている。	3.4→	●掃除時間に安全点検を実施してみてもどうか。
<b>3 校内美化活動の推進と充実</b>		
① 教室や廊下、階段等の設営を計画的に行っている。	3.0↓	▲トイレスリッパが並べていないことが多い。→下校時の見届けを共通実践していく。
② 教児一体となって清掃活動やエコ活動に取り組み、また、子どもへの指導、見届けを十分に行っている。	2.9→	
③ 学級園や一人一鉢に主体的に取り組ませている。	2.8↓	
<b>4 開かれた学校・信頼される学校の推進</b>		
① 各家庭やPTAとの連携が十分に行われ、課題等の解決、諸計画の推進などが適切になされている。	3.2↑	○学校のHPから、子供たちの様子や学校の取組がよく分かる。 ○今後も家庭や地域への情報発信のため、情報提供を教頭に積極的にしていただきたい。
② 地域の中の学校という立場から、地域等とのかかわりを積極的に持とうとすることに努めている。	3.1↑	
③ 学級・学年便り、HP等で、家庭や地域へ情報発信を積極的に行っている。	3.5↓	
<b>Ⅴ 地域の特徴を生かした体験活動の充実</b>		
<b>1 郷土教育の充実</b>		
① 学校支援ボランティアを始め、地域の人材を積極的に活用している。	3.5↑	○業務改善にもつながるので、地域コーディネーターに積極的に依頼していただきたい。 ○合唱指導を今後も地域の方に見守ってもらいたい。
② 地域の素材を活用した体験活動を取り入れている。	2.8↓	
③ 地域行事に進んで参加するよう呼びかけを行っている。	2.9↓	
<b>Ⅵ その他 業務改善(県の施策から)</b>		
① 学校は業務改善が進んでいると感じる。	2.9↓	○提出物には余裕をもって処理できるよう、声かけをおこなっている。
② 学校の1アクション(19:30セット)をできるだけ守る。	3.4↓	
③ 本年度の自分の1トライはできるだけ実践している。	3.4↑	
④ 毎月30時間以内年間240時間以内の時間外勤務を守ろうとしている。	3.5→	

### 3 次学期へ向けての取組

- 教育課程の確実な実施と内容の見直しや精選による校務改善を積極的に推進する。
- 生徒指導研究指定校に指定されたことをうけ、生徒指導に関する共通理解及び共通実践を更に推進する。
- 今年度の職員研修の成果と課題を生かし、協働的な学びの実現に向けて指導法の工夫・改善を推進する。